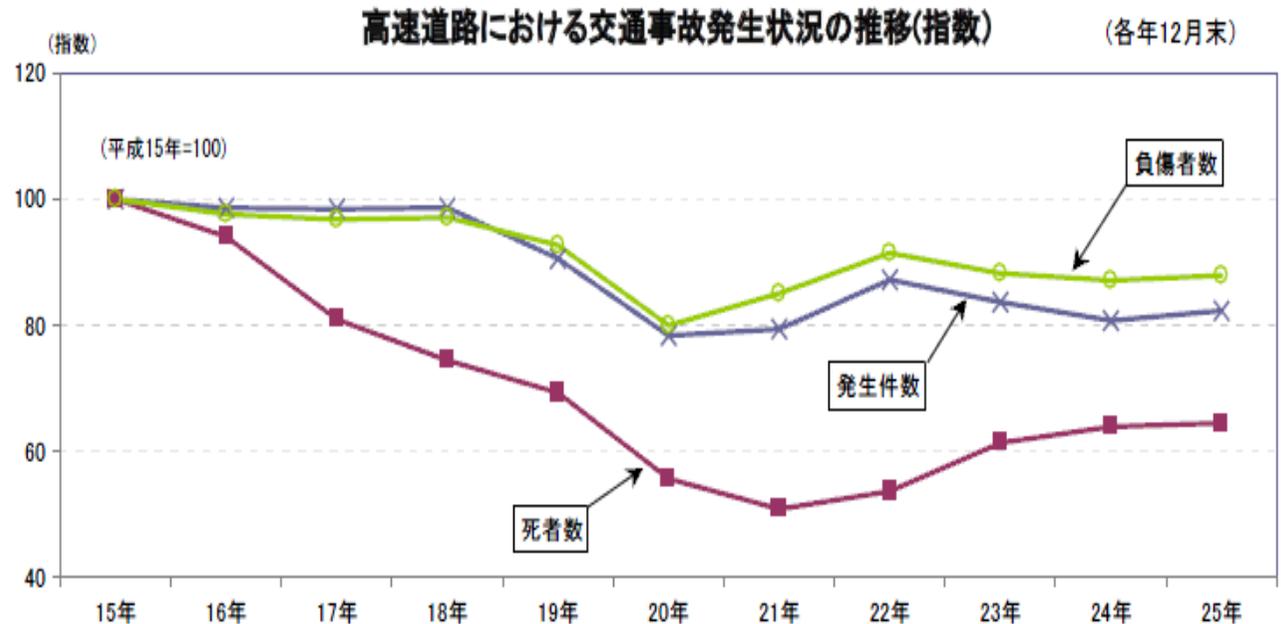


夢アイデアの提案

高速道路における眠気対策

高速道路における事故の件数は平成22年から減少しているが、死者数は増加している。

高速道路は道路の構造上、カーブが少なく信号機が無いため運転操作が少なく、また走行中は単調な風景が続くために、運転者の眠気を誘発し**居眠り**運転の原因となったり、判断力や注意力などの低下を招きやすくなる。



出典 : <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001117549>

高速道路における眠気対策

このような状態のまま運転を続けると、追突事故など重大な事故に繋がり非常に危険である。また、居眠り運転により事故を引き起こすと、早いスピードのまま壁に激突したり、車と衝突するため死亡事故になりやすい。

○ 高速道路における法令違反別交通事故件数の推移（各年12月末）

年		15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	増減数	増減率	構成率
違反区分															
最高速度		866	673	619	601	515	353	336	315	307	310	265	-45	-14.5	2.3
酒酔い		2	3	4	3	2	1	4	2	1	1	4	3	300.0	0.0
車間距離		669	535	669	353	394	314	276	328	332	243	261	18	7.4	2.3
進路変更		121	125	87	107	106	112	102	131	119	109	112	3	2.8	1.0
過労運転等		34	28	23	18	17	19	18	11	18	20	15	-11	-42.3	0.1
安全運転義務違反	運転操作不適														
	ハンドル操作	1,128	1,074	982	932	839	776	782	833	738	577	598	-59	-9.0	5.2
	ブレーキ操作	1,085	1,077	1,002	946	741	659	633	697	670	500	648	48	8.0	5.6
	前方不注意	6,006	5,835	5,698	5,878	5,196	4,451	4,796	5,162	4,916	4,955	5,045	90	1.8	43.8
	動静不注視	2,093	2,488	2,564	2,872	2,782	2,436	2,392	2,752	2,742	2,475	2,723	248	10.0	23.6
	安全不確認	1,050	1,088	1,291	1,270	1,319	1,190	1,216	1,344	1,289	1,244	1,236	-8	-0.6	10.7
	安全速度	402	362	347	354	270	278	209	236	203	222	222	0	0.0	1.9
	小計	11,764	11,924	11,884	12,252	11,147	9,790	10,028	11,024	10,558	10,153	10,472	319	3.1	90.9
その他		537	511	490	469	494	381	350	391	375	457	391	-66	-14.4	3.4
合計		13,993	13,799	13,776	13,803	12,675	10,970	11,114	12,202	11,710	11,299	11,520	221	2.0	100.0

注1 増減数（率）は、平成24年と比較した値である。

過労運転等の事故件数は低いが、運転操作不適（ハンドル操作、ブレーキ操作）、前方不注意なども居眠りの影響があると考えられ、その事故件数は高くなっている。

高速道路における眠気対策

実際に私も高速道路を長時間の運転をする際は、眠くなったことがある。

そこで、高速道路における眠気対策として高速道路の路面や壁面の色を部分的に変化させたり、音を出す仕掛けをしたらよいと思う。

壁面や路面の色としては、赤がよいのではないかと考えた。理由としては、赤色は注目されやすく記憶されやすい色であるし、赤は光の波長が長く、もっとも人の目に届きやすい色であるからである。

音を出すことについては、日本の各地に設置されているメロディーロードを用いれば、眠気対策とともに高速道路での速度超過を抑制する効果もある。

また、このメロディーロードについては騒音問題もあるが、高速道路にはもともと防音壁がついており、メロディーロードを設置する周辺に住宅がないところを選べばよい。

高速道路における眠気対策

また、車の中でラジオを聴くことが好きな人もいるが、高速道路は山の中やトンネルを多く通っており、山の中やトンネルではラジオの電波はほとんど入らない。

そこで、山の中やトンネルでもラジオが聞けるような**強い電波**を出してラジオを聴けるようにして、その中で高速道路の情報や眠くならないような音楽などひきつけられるような番組を流すとよいと思う。



人にやさしい道路を目指す！